



丸子中学校

保健室

令和3年12月8日

特別号 【生徒・保護者向け】

薬物乱用防止教室

11月25日(木)に2学年を対象とした薬物乱用防止教室を行いました。講師は学校薬剤師の先生です。テーマは「お酒とたばこの害について」です。2学年のみなさん、とても真剣な表情で先生の話聞いていました。また授業終了後に「先生、ノンアルコールならいいんですか?」と質問する姿もあり、積極的に学んでいる様子がみられました。



お酒は

NO!

お酒を飲み始めるのが早ければ早いほど依存症になりやすいと言われています。「ひと口だけ…」でも、絶対ダメ!

生徒たちのワークシートから

★もしあなたがお酒を渡されたらなんとこたえますか?

- 未成年だから断る ○僕はお酒が好きではありません
- まだ体が成長するからのまない ○自分の体が大切だから
- 体に悪いし判断力を無くすようなことはしたくないですし、病気にもなりたくないんで ○いたしません
- あと～年後なら飲めるので今はえんりよしく!

★もしあなたがたばこを渡されたらなんとこたえますか?

- 自分の体が大切だから無理 ○ちがづくな
- たばこ嫌いだから無理 ○まだ成長中だからやめとく
- くさいし、体にかかる害の方が大きいから断る

★感想

- 未成年がお酒を飲んだり、たばこを吸ったりするのが禁止されているのは、私たちを守るためということを知りました。
- 未成年のうちに酒、たばこをやると運動能力低下、依存症、死んでしまう場合もありとても危険だということが分かった。
- 酒やたばこの悪影響を知ってとても怖くなりました。この知ったことを家族に教えてあげたいと思います。
- 自分はお父さんがタバコを吸っていてけむりなどをたまに吸っていると思うので、できるだけタバコを吸っているときはちがづかないようにしたい。



性教育講演会「生きるということ -いのちの話-」



12月3日(金)に3学年を対象とした性教育の講演会を行いました。講師の先生は助産師さん(上田市立産婦人科病院)です。卒業という区切りを目前にし、将来のことを考える機会も多くなっている3学年のテーマは「望まない妊娠・性感染症・HIV・AIDS」です。さらに男女の身体的特徴、女性の月経と妊娠の仕組み、出産、人工妊娠中絶、性に関する悩み、多様な性、デートDVと様々な視点からいのちのお話をさせていただきました。実際の現場で命と向き合う先生の話を生徒たちは顔をあげ、熱心に聞いていました。

生徒たちの感想



- 3億分の1の奇跡で私は生まれてきたんだとあらためて実感した。両親が守り育ててくれたこの命と私と同じように生まれてきた周りのみんなの命を大切にしてください。これからも一生懸命生きようと思いました。
- 親にお礼を表から言うのも少々はずかしいので、心の中でお礼をしたいと思います。
- 自分の誕生日は自分が一番頑張った日でもあり、親が一生懸命生んでくれた日でもあるので大切にしたいです。
- 早すぎる妊娠はメリットよりもデメリットの方が多いことが分かりました。自分が10代でそうならないように本当に気をつけていきたいと改めて思いました。
- 中絶は簡単にできない手術という話をきいて、人にたよらず自分自身で子どもを育てられるようになってから妊娠することが生命を大切にすることにつながると思った。
- 私は月一でくる月経にいつも悩まされており、いつもただ血が出るだけだと思ってました。けどそれは赤ちゃんをつくる上で大切なクッションのようなものだとわかりました。
- 「性」というものはとてもデリケートで、あまり表に出すのは良くないとされています。だからといって知らなくていいというわけではありません。しっかりと正しい知識を得たいと思いました。
- ぼくは、知らないことがまだ多いし、性体験なんてとてもできるようになるとは思えないけど知識はあって損はないと思いました。知識はインターネットでも得られるけど間違った情報が中にはあるので、こうやって来て話していただいてとてもありがたかったです。
- 異性との関わりについても学習しました。どちらかの身勝手な行動により、互いに苦しい状況になってしまうということを知りました。自分をしっかりとコントロールし、責任を持って、適切な恋愛をしていきたいです。
- 生まれてくることのすばらしさや難しさ、そして多くの人々の思いや苦労について知れました。もし、これからさき、大切な人ができたときに、その人を傷つけないために適切な距離を保って責任をとれるようになってから関係を深めることが大切だと知れました。

